第 214 回「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

国を超えて俯瞰的に見る ～ 時代の要請 ～

2023 年 11 月 15 日の順天堂大学での英語修士課程講義【大学院講義(英語コース)『病理腫瘍病態学概論 Overview of Human Pathology and Oncology』】に赴いた。 留学生向けの英語の授業である。 筆者は下記の３コマの講義を依頼された。
【がんの定義、自然史と介入 Cancer】：10 月 17 日 15:15～16:45
【発がん機構総論 Carcinogenesis】：11 月 8 日 15:15～16:45
【環境因子とがん Environmental cancer】：11 月 15 日 15:15～16:45

【授業の目的】：『人のからだに巣食ったがんに介入して、その人の死期を再び未確定の彼方に追いやり、死を忘却させる方法を成就すること』である。『適時診断と的確治療』の実現である。 がん治療にあたって、より患者の視点に寄り添うことが求められる。 本コースは『がんの根幹を追求し、俯瞰的に物事を 総合的に見られるようにする』ことを目的とする。

【授業の概要】：『潜在的な需要の発掘と問題の設定を提示』し、『がん学に新鮮なインパクトを与え、ダイナミックにも魅力あるがん学の環境』を作らねばならない。これらを通して『実践的ながん学の涵養』を図る。

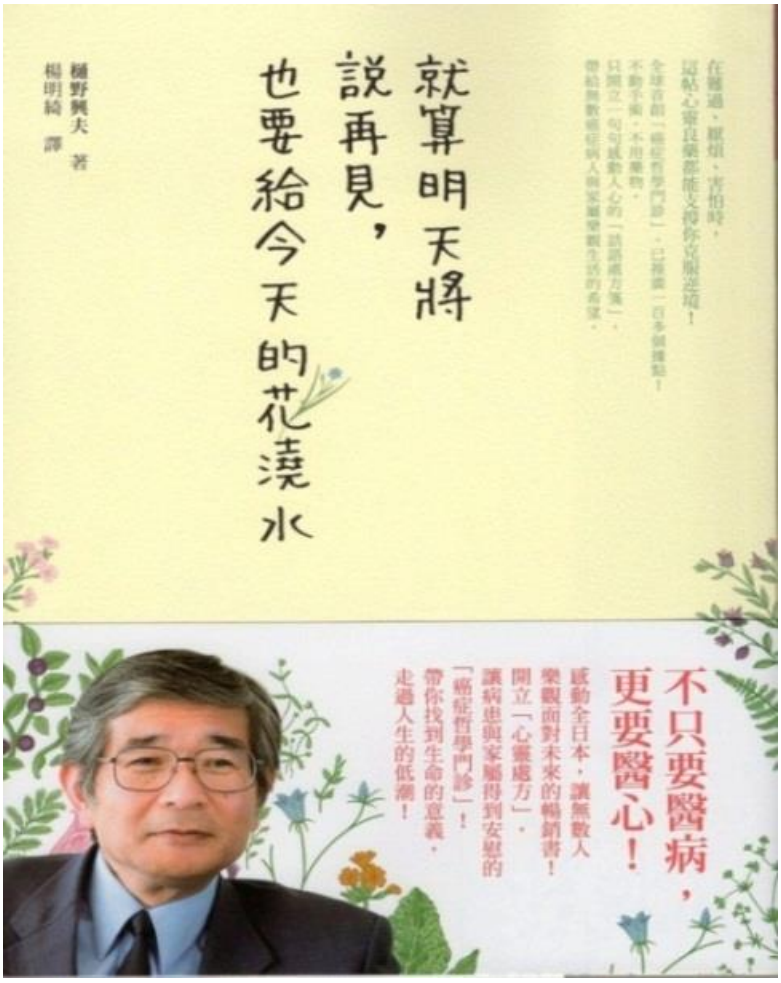
【受講者へのメッセージ】：患者の視点に立った医療が求められる現代、がん学の在り方を静思する。『ダイナミックな広々としたがん学は、時代の要請である』と考える。『深くて簡明、重くて軽妙、情熱的で冷静をモットー』に、『胆力と品性をキーワードに、時代の要請感のある授業』を目的とする。

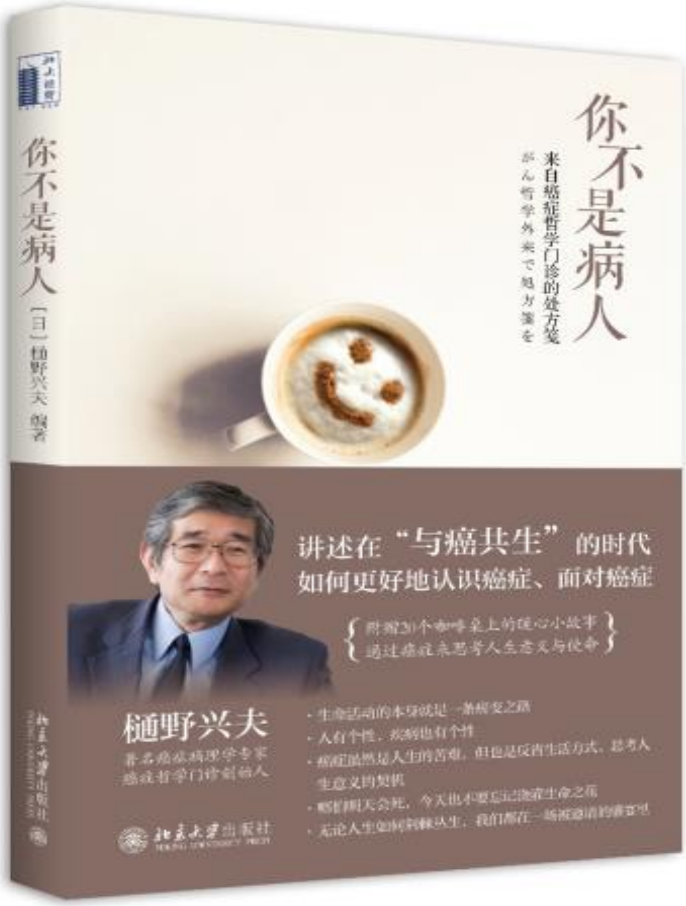
【到達目標】：複眼の思考を持ち、視野狭窄にならず、『教養を深め、時代を読む具眼の士』の人材育成。

真摯な質問も多くあった。 大いに感動した。 筆者の著書の『中国訳』(画像)を読まれたとのことである。 国を超えてお役に立てれば幸いである。

癌哲学
[日]樋野兴夫◎著
从癌细胞看
人类社会的病理
8

癌哲學
[日]樋野興夫◎著
從癌細胞看
人類社會的病理
8


就算明天將
說再見，
也要給今天的花澆水
樋野興夫 著
楊明綺 譯
不只要醫病，
更要醫心！
感動全日本，讓無數人
樂觀面對未來的暢銷書！
開立「心靈處方」，
讓病患與家屬得到安慰的
「癌症哲學門診」！
帶你找到生命的意義，
走過人生的低潮！


你不是病人
来自癌症哲学门诊的处方笺
癌症哲学外来で処方箋を
你不是病人
[日] 樋野兴夫 编著
讲述在“与癌共生”的时代
如何更好地认识癌症、面对癌症
附录20个咖啡桌上的暖心小故事
通过癌症来思考人生意义与使命
樋野兴夫
著名癌症病理学专家
癌症哲学门诊创始人
北京大学出版社